

第 161 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 31 年 2 月 8 日 (金) 14:00~17:00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 大谷 (日大)

副委員長 仲嶋 (福山大)

委 員 河村 (アンリツ), 布施 (電中研), 古川 (横河電機)

松村 (日大), 水野 (麻) (NICT), 望月 (三菱電機)

幹 事 作本 (日大), 今池 (日大)

幹事補佐 小平 (日電検), 白井 (日電検)

資 料

161-1 平成 31 年度 計測技術委員会活動計画三次案

161-2 平成 31 年度 計測研究会開催予定三次案

161-3 平成 30 年度 計測技術委員会活動状況

161-4-1 計測研究会プログラム (12 月 21 日, 3 月 15 日開催分)

161-4-2 計測研究会プログラム (2 月 28 日開催分)

161-5 平成 30 年度優秀論文発表賞 A 賞受賞者

161-6-1 A 部門活動資金見直しをお願い

161-6-2 「A 部門活動資金見直しをお願い」の背景

161-7 特集号の論文募集「イノベーションを創出する最新の計測技術 2019」特集

161-8 A 部門大会テーマ付きセッションについて

議 事

1. 議事録の確認

以下修正のうえ承認された。

P.2 L.17 「5 月投稿締切」→「3 月 29 日投稿締切」

特集論文は現在 1 件の投稿がある。査読は短期間となるため、協力をお願いする。

2. 研究調査運営委員会 (11 月 1 日開催)

大谷委員長より以下の報告があった。

- ・ 優秀論文発表賞の部門表彰について、表彰人数が変更となる。

3. 平成 31 年度計測技術委員会活動計画及び研究会開催三次案

作本幹事より資料 161-1 及び 161-2 に基づき説明があった。

- ・ 計画の最終案である。見学会は 10 月を計画する。
- ・ 2 月の「光応用計測」は 2 日間開催で、光応用・視覚技術委員会との合同研究会とする。また PEM 研究会とは隔年毎に連催するため、2020 年 2 月の連催はない。

4. 平成 30 年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料 161-3 に基づき説明があった。

- ・ 2 月の「光応用計測」は 14 件, 3 月の「温度計測」は 9 件の発表を予定している。
- ・ 昨年 9 月に開催された A 部門大会は、台風の影響で一部開催中止になったが、部門大会における優秀論文発表賞の審査は行い、表彰する。

5. 計測研究会 2 月開催について

仲嶋副委員長より資料 161-4 に基づき説明があった。

- ・ 宮崎で開催される計測研究会は電子情報通信学会 PEM 研究会と連催するが、会場費は電気学会、プロジェクト使用料は PEM 研究会が負担する予定である。
6. 優秀論文発表賞 A 賞受賞者について
大谷委員長より資料 161-5 に基づき説明があった。A 賞は佐賀大学の岸田氏、部門賞は佐賀大学の古川氏が受賞する。なお、部門賞については、35 歳以下の論文数の割合から各技術委員会の割当人数を決定する。平成 30 年度の計測技術委員会への割当は、A 賞 1 件、部門賞 1 件である。
7. A 部門活動資金について
大谷委員長より資料 161-6 に基づき説明があった。
 - ・ 2019 年度分の活動資金申請額は、5 万円を超える案件について一律 2 割の削減となるが、計測技術委員会の申請額は 3 万円なので該当しない。
8. 特集論文について
大谷委員長より資料 161-7 に基づき説明があった。
 - ・ 2019 年 11 月号に掲載する「イノベーションを創出する最新の計測技術 2019」特集は、3 月 29 日が投稿締切となる。順次、査読者を振り分けるので協力をお願いする。なお、査読期間は 2 か月程度の短期間となる。
9. A 部門大会テーマ付きセッションについて
大谷委員長より資料 161-8 に基づき説明があった。
 - ・ 電気学会事務局から、2019 年 9 月に岩手大学で開催される A 部門大会のテーマ付きセッションの募集が届いているが、計測技術委員会から応募しないこととする。
10. 編修委員会委員について
大谷委員長より編修委員会委員の交代について説明があった。
 - ・ 計測技術委員会から委員をお願いしている産総研の昆様については、今年 3 月で任期が終了する。次の委員候補として、①産総研、②日本大学の関先生の順をお願いする。
11. 計測自動制御学会との連携について
大谷委員長より、佐賀大学の木本先生から打診のあった計測自動制御学会センシングフォーラムとの連携について説明があった。
 - ・ センシングフォーラムのポスターセッションについて連携できないかとの打診である。過去のポスターセッションでは、生体計測関連の発表があるが、例年 12 月に開催している「生体計測」の計測研究会を 8 月に移動させるのは難しい。連携については、センシングフォーラムからの連絡を待って検討したい。

次回予定 日 時 2019 年 5 月 10 日 (金) 14:00～ 場 所 未定

12. その他

IM-09 議事録

資料

Chapter Rebate

2018 年度第 2 回学生研究発表会プログラム

平成 30 年度 IEEE 学生研究発表会採点結果

議 事

- ・ IM-09 の Chapter Rebate は 24,616 円で、前年の支援費を入れ 6,000 円の減
- ・ 平成 30 年度学生研究発表会の採点結果から、日本大学の千葉氏、佐賀大学の阿部氏が Student Award を受賞